

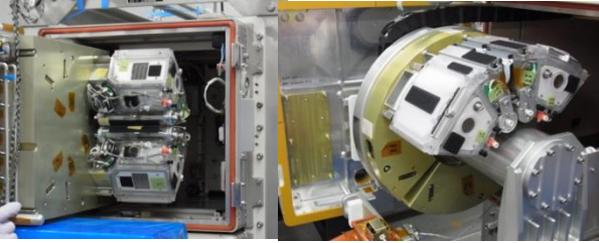
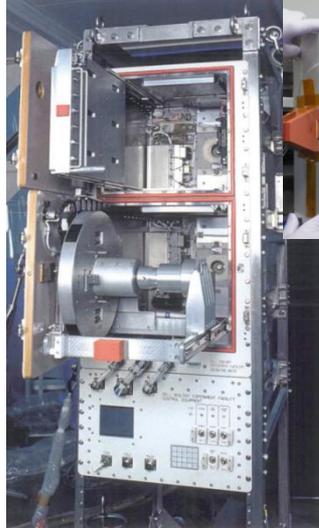


「きぼう」の性能・機能を生かした利用の拡大 (タンパク質結晶生成、加齢性疾患研究への重点化)



多剤耐性菌や歯周病に対する抗菌治療薬につながるタンパク質。創薬研究の開始目途に貢献
(岩手医科大学)

タンパク質結晶生成実験
(創薬企業がトライアルユースで参加)



小動物飼育装置(写真は地上撮影)



軌道上組立・
チェックアウト→

骨・筋肉・免疫分野における
加齢性疾患研究の実験環境を整備

タンパク実験におけるユーザ利便性・多様性の拡大への取り組み

- 実験機会を高頻度化し、ユーザの早期実施要請に応える(2回⇒4回/年)
(露単独から、露・米の打上機会に拡大し、頻度を上げる)
- ターンアラウンドタイムを短縮し、ユーザの結果判断を早期化(準備から結晶引渡しまでの期間を10カ月から7カ月に短縮する技術開発を実施中)